

## インターンシップ通信【特集号】

7月は二校の高校生がインターンシップに参加しました。当管内では砂防とは一体どんなものなのか事業説明を行い、現在工事中の現場で、実際にいろいろな体験をしてもらいました。

## 新庄神室産業高校 (7月3日)

秋保太陽くん：鋼製枠の組立作業では、ボルトの向きやナットの表裏などを間違えないようにしながら、細心の注意を払って作業していらっしやることを初めて知りました。

伊藤光くん：大きな砂防堰堤を造る現場で、たった7名で作業していらっしやると聞き驚きました。それと同時に、国土交通省のお仕事のスケールの大きさにも驚きました。

伊藤彩夏さん：初めて現場の体験をしてみて、夏の暑いなか長時間作業するのは本当に大変だと感じました。排水トンネルでは、中の温度の低さにびっくりしました。

伊藤鈴さん：現場はとても暑いし辛そうだったけれど、皆さんが楽しそうに仕事をしていて、いいなあと思いました。排水トンネルは暗くて寒くて怖かったけど、体験できて楽しかったです。

→ 鋼製枠を組み立てる作業



現場の職人の方が手取り足取り教えてくださいました。

神室産業高校からは男子2名、女子2名の計4名がインターンシップに参加し、実際の現場を体験してくれました。

→ 思ったより力がいらいます



鋼製枠を積上げるとこのようになります



現場の概要を説明中。

## 新庄北高等学校 最上校 (7月11日)

佐藤伶耶くん：砂防堰堤を建設している現場を見学し、ダムにもいろいろな形や種類があるのだと初めて知りました。

→ 砂防堰堤の工事現場を見学



受注業者さんのインターンシップと合同での参加となりました。女性技術者の現場代理人の方に案内・指導していただきました。



↑ 砂防事業について所長が説明中  
 ← 現場事務所にて「光波測距儀」の使い方を説明中

### 横道赤砂第1砂防堰堤を見学



いろいろご感想ありがとうございました。それぞれの目指す道に向かって頑張ってください！！



← 銅山川砂防出張所マスコット「リオンどん」